

AA日本ニューズレター

私書箱

〒100-91
東京都中央郵便局
私書箱 916



AA 日本ゼネラル・サービス・ミーティング・文書委員会
TEL03-590-5377 171 東京都豊島区池袋 2-23-3 橋ビル 9F



No.26

セントラル・オフィスは 地域AAの窓であり アンテナである

今年の3月で日本AAは満16年となり、社会資源としての評価も高まってきた。AA共同体を構成する一人一人のメンバーがしっかりと支えて行こうという意欲が強く感じられる。確かに、一人のアルコール依存症者が回復して行くのに、多くの資源がネットワークを組んで目的を果たして行く訳だが、私の、あの飲酒衝動が今日一日自分にはなく、そしてかつて出口のない袋小路にいた私が、今、分かりやすい一日を送ることができているのは確かにAAにいるからだ。AAにはとてつもない力があると私は思う。そしてAAメンバーと一人一人が、程度の差はあるが、そのAAの力を信じている。

ところで、AAは人の集まり以外の何物でもない。機械設備がある訳でもないし財産が有る訳でもない。だからアノニマスの原理に基づいて、メンバー各自の社会的差異をAAの中では徹底的に取り除き、人格の平等という理想の実現を追求する。物事を決めて行くうえで、一人一人の声を反映させるため、グループは自律である。伝統に関することも最終的にはグループ内側の良心に委ねられる。そしてその自律の理念は、地区や地域、全国に及ぶ。グループとグループ、地区と地区、地域と地域、国と国はそれぞれ協力して行くが、例えばアメリカAAが日本AAの決め事に影響力を及ぼすことはあり得ない。

日本AAを七つの地域、北海道、東北、関東甲信越、中部北陸、関西、中四国、九州と沖縄地区に分けて、そのエリア内部の運営と社会資源としての機能強化に全力を挙げて行くスタートを切って既に久しい。ここでAAは、アノニマス社会として解決しなければならない一つのテーマを持つことになる。

AAはマスメディアの分野で個人名を100%伏せる。AA内部の情報伝達のためのグループ代議員の住所が、エリアに公表されることもあり得ない。日常のミーティングもオープンミーティングを設け

て本人以外のコミュニティーの方々を歓迎しているけれども、あの飲酒衝動から安定して解放されるために必須の本人だけのクローズドミーティングが主体である。又、AAの揺籃期にはそれが秘密結社と思われた。そのことを聞いて大都会のメンバーも関係者の方々も今は笑う。中ではあの飲酒衝動の迷路から解放されること以外は何も目的にないからだ。しかし閉鎖的なイメージは付きまとう。少なくとも近づきにくい雰囲気を外側の方々は持ってしまおう。

AAコミュニティーに窓を開けよう。アンテナを立てよう。日本全国に一つのJSOを有し、各地域は各々セントラルオフィスを置く。その上コミュニティーの方々にAAがより身近であるために、よりその土地に密着し、その地名を冠した〇〇サービスオフィスが、土地の方々に愛されるようにしたい。グループとそのオフィスは毛細血管で結ばれ、窓を開けてそのコミュニティーとの風通しをよくして行く。しかし今は一地域に一つのセントラルオフィスを！ のスローガンをもとに、ほぼ設立されたオフィスを機能させて行くことに全力を挙げよう。

JSOは正月三が日を除き、ウィークディは午前9時から午後7時まで、土、日、祝日は午前9時から午後5時までの休みなしで運営している。3人の有給スタッフと2人のパートタイマー、そして無数のボランティアによって支えられる。JSOも今年10月には10周年を迎えるが、全国のグループが集中してJSOの運営に係わって来てくれたことが高く評価されるわけだが、セントラルオフィスがコミュニティーのグループや関係者の方々に愛されるための三つの考えを提案してみたいと思う。

図書やAAグッズの発送は当日か翌日には終了し、留守テルも一日一回はキャッチし、当日か翌日には処置を完了する。簡明なバランスシートを月一回公表する。経理は複数の担当者で行う。

スタート段階のセントラルオフィスは財政も小規

模で、スタッフも短時間勤務という制約があり、旺盛なボランティア精神に裏打ちされてのみ育っていく。各地域のセントラルオフィスが精一杯の整備努力を続けても、はるかにそのスピードを凌ぐ勢いで社会のAAに対するニーズは高まってきている。

それに対応してJ S Oでは、在庫図書の管理と印刷、編集作業をいずれかに移すか、発想の転換を図り、根本から考え直すことを検討していく。今年になって、既にコンピュータ化された会計処理をより機能化するために、ボランティアの人達とその実施を進めている。各地域のセントラルオフィスやサー

ビスオフィスとJ S Oがハイテク回線で結ばれることが私たちの夢だが、5年前、第2回サービスフォーラムで、オフィスに関する分科会が開かれて以来、機会ある度に関心ある人達が話し合い、分かち合っ

てここまでやって来ることができた。この小文がAAのキャンパスに鋭い論客を生み、あるいは昼夜黙々と行動する精力的な実践諸氏を輩出するきっかけを作ることができれば幸いである。

AAがよくなれば、それはすぐ個人個人の生活や人生によく跳ね返って来るからである。

J S O 林

北海道近況報告

札幌では毎日のように雪が降り続き暖かいのですが、積雪量は平年を大幅に超えています。そんな中を仲間たちは毎夜、綿帽子を頂き、白い塊を吐きながら、元気にミーティングに顔を見せています。

仕事帰りの仲間、ミーティング時間を待ち構えていた仲間等、表情から話の内容から、さまざまな生活を見せてくれます。昨年、北海道では多くの催し物が持たれ、グループ発足記念集会はもとより、セミナー、ラウンドアップ、野外ミーティング、そして地区による合同ステップセミナー等は、仲間意識、地区意識の高まりと共に、共に成長しようとの気持ちの結実でしょう。このことに刺激されてか、今年になってステップを大切にしよう、ステップミーティングを始めようとの声もあちらこちらで上がり、皆、求めているものは同じだと実感し、仲間の中で酒を止め始め、ステップによって魅力ある仲間の集まりに変貌し、まだ苦しんでいる仲間たちの目と耳を捕らえられるよう期待しています。

地域内での行動は次第に活発になって来てはいますが、他地域との交流となると、まだまだの感があります。海を隔てていること、時間的、経済的負担が大き



く、気持ちはあってもなかなかままならないのが現状です。しかしながら空は一体です。空を通って自由に往来できる日もそう遠くない感じがします。

落ち着いたソーバーを続ける仲間が増えて来たのは、ここ数年のことです。道内活動で有り余った力を全国に持ち歩く仲間が、多くの仲間との出会いを通して、北海道に新しい活力を持ち帰る日が楽しみです。今年もラウンドアップ等、多くの催しが計画を始めております。一斉に草木が芽吹き、すべての生命が躍動する5・6月から行動も盛んになります。

北海道の何も無い大自然の中にお誘いしますので、ぜひ来てみてください。今夜のミーティング帰りは雪が止んでいます。新雪が灯にキラキラと光って、幻想的な気分になりますが、相変わらず口からは白い塊がポツポツと出続けます。しかし、その魂の中には、希望と解放がチラチラと見え隠れしています。



左記、3種類のサービスマークを日本AA アルコホーリクス・アノニマスは、商標法改正に備え、発行する文書に積極的に使っています。各グループでも、案内状、議事録等にAAの文書であることを明確にするため、積極的に使用下さることをお願い致します。

オフィス便り

—全国オフィス一覧—

☆北海道インターグループ
私書箱 札幌市白石郵便局 29号
TEL 11-824-4670

☆東北セントラル・オフィス
〒981仙台市青葉区柏木1-7-12
紫苑荘2F東
TEL 022-276-5210

☆岩手インターグループ・オフィス
〒020-01盛岡市中堤町 20-36
TEL 0196-46-3725

☆中部・北陸セントラル・オフィス
〒462名古屋市北区清水4-15-1
日宝黒川ビル404号
TEL 052-915-1602

☆関西セントラル・オフィス
〒553大阪市福島区福島6-18-1
太源マンション302号

☆中・四国セントラル・オフィス
〒730広島市中区西川口町15-5
TEL 082-295-9750

☆長崎サービス・オフィス
〒850長崎市御船蔵町15-37
TEL 0958-26-5343

☆九州セントラル・オフィス
〒892鹿児島市祇園之州12
セジュール祇園之州203
TEL 0992-48-0057

A A東北セントラル・オフィス

昨年10月10日、かねてより懸案でありました東北のオフィスが誕生いたしました。一昨年の夏、東北地区懇親会(現:東北地域委員会)の席上、具体的に事務所設立の提案がなされ、東北地域のグループ・メンバーはもとより、他の地域のメンバー、オフィス等からも助言をいただき、設立にこぎつきました事を紙上をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、開所以来3カ月あまり経ちました。お陰様で職員も決まり、スタッフ・ボランティアも一時の混乱から脱し、ようやく一段落したところです。というのも全員未経験者で、誰もが何から手をつけてよいやら分からず大変でした。この頃になってやっと一人一人が自分の役割を認識し、スムーズとは言えないまでも、何とかやれるようになって来ました。

サービスの時間は10:00~15:00となっております。現在オフィスのサービスとしては主に、電話による窓口業務、書籍・メダルの販売、東北ニューズレターによるイベント・ミーティング等のお知らせ、東北地域のメッセージ状況の調査等を行っています。将来的には色々やりたく考えていることはありますが、本年はとりあえずオフィスの維持・定着を基本としてJ S Oとの連絡を密にし、地域内のコミュニケーションの確立、東北ラウンドアップの窓口、その他オフィスを多く利用してもらえよう、広報活動を行って行きたいと考えています。まだまだ初心者で何かと行き届かない面も多々ありますでしょうが、気軽に立ち寄れるオフィスを目指し、伝統を守って職員、スタッフ、ボランティア一同、一所懸命運営して行きますので、全国の仲間のご支援をお願い申し上げます。



岩手インターグループオフィス

四国4県に匹敵する面積を持つ岩手県にオフィスが設けられたのは、87年12月だった。87年3月に盛岡グループが誕生し、1人のメンバーがミーティングを続けながらメッセージを運び続け、盛岡の南北にそれぞれ70キロ程離れた水沢と二戸にグループが誕生すると同時期のスタートだった。

以後、約2年半の間、3グループ間の情報交換の場、J S Oとのパイプ役を果たしながら、ステップコールへの対応、医療関係者はじめ各関係機関への働きかけ、そして問い合わせに対応し、A Aを理解し存在を知って頂くための活動を続けて来た。

そう言った活動の核となるものが、春秋に岩手インターとしてオフィスを拠点として、オープンセミナー、パブリックミーティング等を開催して来た。そのオフィスを移転しなければならないのではという話が、各グループ、メンバーから持ち上がったのは、昨年春であった。それまであるメンバーの自宅の一室をオフィスとして使用して頂いていたが、そのメンバーが一時的にオフィスの仕事から離れ、一時的にオフィスの機能がストップしてしまったこともきっかけとなった。その後、岩手にオフィスが必要なのか、オフィスが果たしている役割とは何なのか、という話し合いが3グループのメンバーが集まって何度となく行われた。その中で、オフィスが岩手という場所で3グループが孤立することなくミーティングを続けて行くために、これから新しく来る仲間がA Aにつながるために果たす役割は、維持して行かなければならないという認識を新たにした。

そしてオフィスは命令をする場所でもなく、こうしてくださいと指示を与える場所でもない。メンバーが必要とするものを分かち合える場所だ。メンバー全体が支えて行かなければならない。という結論になった。新しいオフィスも、A Aを理解していただきた方

の家の片隅をお借りし、全く独自の電話を持ち移転したのが昨年の10月であった。

11月よりサービスを開始した。専従の職員は現在いない。月、金曜日の午前10時から12時まで、土曜日の午後2時から4時までに限って、メンバーが詰め電話応対を中心としたサービスを行っている。オフィス業務に携わっているのは数名のボランティアメンバーである。中には70キロ以上の距離をバスと電車を乗り継いで来るメンバーもいる。まだまだ試行錯誤の繰り返しで、ご迷惑をおかけすることも多々ある事ですが、宜しく願いいたします。

中部・北陸セントラルオフィス

AA中部・北陸セントラルオフィスがオープンしてから1年3カ月ほど経過しました。当初より日曜、祝日の午前9時より午後5時までAAのメンバーが交代でオフィスに詰めて、普通の日には留守番電話で受け付けていましたが、なかなか通じないことが多く大変ご迷惑をおかけ致しました。現在は月、水、金の各曜日午前10時より午後1時まで職員をおくことができるようになりました。まだまだ不都合があると思いますがご利用ください。尚、日祝日は従前通りですので、名古屋へお越しの節はぜひお立ち寄りください。熱いコーヒーくらいならサービス致します。

中部・北陸地域のイベント

3月2日3日 雪上ワークショップ

主催 AA金沢グループ

3月31日(日) 予定 汐干狩り

主催 AA名古屋グループ

両方とも連絡はCCOまで

オフィス運営委員会は月2回、地域の代議員集会は隔月開催し、より良いサービスのあり方を検討中です。グループごとにさまざまな問題を抱えながらも、一歩ずつ進んでいきたいと思っていますので、よろしく願い致します。



関西セントラルオフィス(KCO)

—新たな出発—

オフィスの職員になってはや3カ月が過ぎた。昨年仲間の推薦が引き金になって将来の仲間達の役に立てる奉仕の仕事の魅力に引かれて、シアトル55周年インターナショナルコンベンションから帰国し

て、7月の地域サービス委員会の席上で引き受けることを決心したものの、その後『大変な仕事だよ』『よく決心したものだね』とか『今のままであれば良いのに』と言いたげな気の毒そうな顔をして心配してくれた仲間達もいました。又、私がアルコール症であることを話した仕事上の朋友(かつては良き時代に公私共に楽しく飲んだ)の一人は『君はそのほうが向いているかも』とも言ってくれた。

事情があったとは言え今年の1月からの就業の筈が2カ月早くなってしまい、急遽昨年の11月から気持ちの切り替えも出来ないまま、オフィスに座ることになってしまった。正直のところ2カ月ほどは戸惑いが先立ってサッパリ要領の得ない事ばかりでしたが、最近やっと職員としてのサービスの仕事の感と自覚が出て来て、多少心のゆとりがもてるようになりました。新しい仲間、メンバー、グループ、J S O、家族、関係者の方々からの問い合わせ、依頼事項が主であるが、多くの情報が一つ一つ異なるので時には長電話での相談めいたこともあり、ついつい連絡や依頼を忘れてしまうことも度々ある。ここでも己の不甲斐なさや無力に気付かされた。

一度は仲間の話で『Sさんが亡くなった』ということとその仲間のグループのメンバーに伝えたら、たちどころに広まり某病院内の集まりで『KCOの職員がそう言っている』と言い触らされてしまい、その仲間に変な申し訳無いことをしてしまったという大失敗を演じてしまった。それ以来不確実な情報は全てオフィス止まりにすることにしている。

何にも増してうれしいことは、新しい仲間からの問い合わせとミーティング場の案内をする時と、オフィスへの来訪者にAAでの回復のプログラムを紹介させて貰ってグループへの橋渡しをする時である。

1990年は、関西地域の共同体にとっては、AA日本15周年・関西10周年、第1回目の関西かんばーラウンドアップと広報的なメッセージも運ばれ、一体性を高める二つの大きなイベントが展開された。一方J S Oのスタッフも実態の把握に悩まされるほど多くのグループの自立化が急速に進展して行った。更に行政区に見合った地区割は困難を来したが、グループ間の話し合いと調整でそのサービス体系も何とか整って、恒例の玉造迎春ワークショップを皮切りに、昨年のさまざまな体験を通して支えられた力で、1991年がスタートした。

今年は地域としてのセントラルオフィスのサービス体系を如何により効果的に充実させるかがテーマだと

考えている。地区内と周辺の各グループへのより迅速な情報提供、各グループと地域委員会とオフィスが一体性を保ちながら連携と協力を強め地域に根差したサービスを高めて行き、関係者とのより良い協力関係を作っていくこと、J S Oとの常に密接なパイプでの情報交換等、伝統1と5を念頭においてハイヤーパワーの信頼のもと今日一日の中で少しずつ実現して行き、地域の中で不可欠のセントラル・サービス・オフィスでありたいと考えています。

K C O 新村

AA中・四国セントラル・オフィス

昨年5月広島の地区サービスとして発足した広島セントラルオフィス(以下H C O)が5月末高知での中四国代議員集会の際、J S OからH C Oのサービスを中四国に拡大してはとの提案があり討議しました。その結果H C Oは発足したばかりで広島地区のサービスで手一杯との意見が出て保留となりました。その後、半年間H C Oのサービスをして来ましたが、11月中旬第3回中四国大会が広島で開催され、そのときの代議員集会で保留となっていたセントラルオフィスの件が議題となり、J S Oからの強い要望と各代議員の全員賛成でH C Oから中四国セントラルオフィス(以下C S C O)への移行が内定しました。そして同月下旬東京で開かれた日本G S Mの二日目の夜オフィス会議が行われ、正式にH C OからC S C Oとして活動することを報告しました。

広島地区では以前から医療行政へのメッセージ活動はしていましたが、12月から地区レベルのサービスに移り範囲が拡大したためノンアルコールスタッフ(ボランティア)の女性一名の参加を得て、会計を担当してもらっています。また各グループにはミーティング案内を送っていただき、一覧表を作成中です。一度に何もかもと思いましたが機関誌も発行すること、当面年2~3回を予定しています。12月の一カ月間はオフィスの整備と関係者へのお知らせ等で終わりました。

平成3年元旦大阪から二名の仲間が訪れ、翌2月広島安芸グループ(瀬野川病院)へメッセージを運びました。ミーティング終了後一路下関へ。山口の4グループと合同ミーティングが下関であり、我々もC S C Oの今後のサービスのため、又、皆のソブラエティー達成のため参加しました。新グループが生まれ新鮮な笑顔が見られるようになるのは嬉しいものです。AA共同体の最重点地域とされている中四国地域、確かに

中四国9県の内4県にグループがありません。そこでかねてからの候補、香川県丸亀市の三船病院へ1月13日メッセージを運ぶことができました。臨床心理士の熱心な働きかけで実現した訳ですが、各グループに協力を依頼したところ、『まだ苦しんでいるアルコール中毒者にメッセージを運ぶ』という伝統5をよく理解していただき、中四国計14名が参加されました。三船病院のアルコール中毒者は現在約20名、県の断酒会へ月一回(全員)、院内例会が週二回(常時6~7名)あるとの事でした。この日も6~7名の参加を得てモデルミーティングを行い、初めてのメッセージは好印象を与えたものと思います。以後高知グループを窓口として月一回、第2日曜日にメッセージに行く予定です。C S C Oが発足して二カ月、多くの問題が山積していますが、焦らず一つずつ各グループ、各地域、J S O等と連携を取りながらより充実したC S C Oとなるよう頑張っていく所存です。全国の仲間のご協力をお願いいたします。

長崎セントラルオフィス

奇跡、この言葉は時間の経過と共に益々その重みを加えて来るようです。AAがアメリカで発足しなかったら、日本に上陸しなかったら、更にはこの西の果て、長崎の地に仲間がオフィスを設置しなかったら、フェローシップがうまくいかなかったら……全く奇跡でした。

長崎にオフィスが発足してから10年余りになります。紆余曲折、多少のトラブルもありましたが、結果的には良い方向に向かっています。発足当初の1年間東京の仲間が常駐してくれました。遠路はるばる沢山の仲間の参加がありました。しかし当初の2年間というものは長崎のメンバー4名~5名、増えたり減ったりの状態でした。さりとて現在も総花的な状態が生じている訳でもありません。ポツポツです。ただ古いメンバーにミーティング離れが殆どありません。出席回数が多い。何故でしょうか。

それが良いことなのか悪いことなのか、とにかく顔を見せて貰わないと少々困るのが長崎の現状です。

最近、九州にはセントラルオフィスは一つで良いということになり、長崎はサービスオフィスになりました。ただ単に名称変更ということにはならないでしょうが、もともとAAは草の根運動から瑞を発したのですから、形はどうなろうとオフィスでやる仕事は一杯あります。サービス体系の問題点に触発されて、もっとシビヤにもっと複合的にサービスの徹底化を図ろう

ということになりました。そこで、
 長崎地区広報委員会発足 90/12
 AA長崎地区ニューズレター 毎月発行
 AA長崎地区サービスオフィスの所在告知
 電話帳のハロー頁、職業欄、教報紙の記事欄に毎月、
 毎日新聞の広告欄に毎週(1年間)メンバーズカードの作成(3枚折り込み式・ミーティング場案内)
 長崎地区代議員会 開催
 AA長崎地区パブリックセミナー 91.4.22(月)
 長崎県総合福祉センター
 AA長崎地区ステップセミナー 91.10.10(木)
 長崎県総合福祉センター
 第5回九州地域ラウンドアップ開催 91.7.12日
 ~7.14日(2泊3日)佐賀厚生年金休暇センター
 以上の会合は全てオフィスを使って開いています。
 尚、月、木、土、日 AM11:00~PM4:00 常駐
 月、木、土、日 PM1:30~PM3:00 初心者ミーティング。ただし司会は可能な限り時間の経ったメンバーが交代で出席しています。
 他の時間帯は留守番電話で対応しています。メンバー間の連絡、伝言等にも利用しています。

九州セントラルオフィス間もなく開店

88年夏、長崎雲仙国民休暇村での第2回九州地域パブリック・ミーティングのテーマは『アルコール中毒者に何が出来るか??』という漠然としたものでした。(約50名の医療、行政関係者が参加されました)
 実際我々の九州のアルコール中毒者自身、その時は一体何が出来るのか、何が出来ないのか、皆目見当のつかない暗中模索の状態(幼児期)であったように思います。何が出来るのかという捜し物を懸命に見つけ出そうとしていたのかも知れません。医療関係者の中から 地域の自助グループの発展段階をみながら、委

ねていきたいと思います という意見と AAの文化を通して行政側から見守りたい という意見があったことが印象的でした。又、自助グループを知ったということだけでも良いと思いますし、時には突き放す必要もあります という意見もありました。結論として、AAと医療と行政の三位一体の協力を努力しましょうということと終わりました。

あれから3年、再び同じテーマを九州の仲間が話し合いました。自分自身の回復に精一杯で、同じ苦しみをもつアルコール中毒者に目を向けなかった者たちが、『我々は、AAグループはメッセージを運ぶという実際的な行動を続ける集合体なのだ。そうでなければ我々自身が衰退し、メッセージを伝えられなかった仲間は死ぬかもしれない』という事実によろやく目覚めたように思います。

ほんの少し前までは、連絡場所もなく個人の電話を使ったり、精神保健センターや保健所を連絡先、問い合わせ先にしていたものです。(実際それで間に合った時期でした)現在は九州のAAも少しばかり社会資源として認められたのか、各方面からの問い合わせが多くなりつつあります。それもサービスオフィスをもたない地区からのものが。九州には長崎と鹿児島にセントラルオフィスがありました。そこで地域が話し合いを重ねて、鹿児島のオフィスを九州セントラルオフィスとし、長崎のオフィスをサービスオフィスといたしました。現在、開設準備中です。4月頃には案内状をお送りいたします。『アルコール中毒者に何が出来るのか??』このテーマを忘れる事なく、メッセージを伝えるためのサービス全般の基地でありたいと思っています。そして各方面とのネットワーク基地でもありたいと願っています。幼児期から青年期に向かいつつあるというのが、今の九州です。

《あおしんごう》について



AAメンバーと関係者に分かち合いの文集として親しまれてきました関西の《あおしんごう》は、皆様の暖かい励ましをいただきながら、発行継続の努力をして参りましたが、現在のグループの微力ではどのような方法をとっても発行までには至りませんでした。これ以上の期待をつなぎ、果たせない努力を続けて行くことは、皆様の失望とグループの負担を更に大きくすることと判断し、この度大変残念ですが発行停止に致しました。

数年にわたりありがとうございました。《あおしんごう》を素晴らしい分かち合いの道具としていただいた仲間と、私達にソプラエティーの楽しさを与えて下さった皆様に心より感謝いたします。尚、年間購読料の清算に関するお問い合わせは、KCO内の「旧あおしんごうグループ」までお願いします。